

看(カン)護小規模多機(タキ)能型居宅介護

あおぞら 壁新聞

ほくと自立支援ホームだより 第11号

2019年(平成31年) 3月15日発行
ほくと自立支援ホーム
帯広市西18条南4丁目15-10
☎0155-36-7723

「カンタキあおぞら」流活用の仕方

お風呂篇

涼やかな気分で

お風呂に入って上がると、サッパリして涼やかな気分になりますよね。
暑い夏でも、寒い冬でも、木枯らしが吹く秋でも、そしてこれから暖かくなる春でも、お風呂はいつ入っても良いものです。お風呂には毎日入りますか、どのくらいの頻度で入りますか？

椅子に

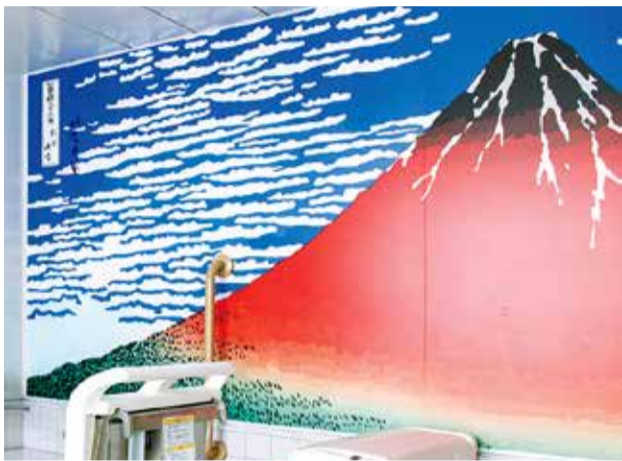
座ったままで

のは、南から吹く柔らかい風の事だそうです。

自分が入ることができ、入る方はいいのですが、少しお手伝いが必要な方や、一人が入ることができても、何となく不安な方、それはいろいろですね。
カンタキあおぞらでは、

凱風快晴

お風呂と言えば、銭湯の壁には必ずと言っていいほど、富士山の絵が描かれています。どうして富士山が描かれていたのかは分かりませんが、それにならって、葛飾北斎の富嶽三十六景の「凱風快晴」という作品を壁に飾りました。凱風という



昔懐かしい銭湯の雰囲気演出している浴室

安心のお風呂を用意しました。
①椅子に座ったままの状態
で、リフトで身体を持ち上げ



②浴槽の上までスライドしていき、そしてそのまま、ゆっくりと下降して湯船の中に入って行きます。



安心して入浴を

カンタキには、お風呂に入る事を一番希望して登録する方、安心して入浴できるように、いろいろと工夫を凝らしています。それだけではなく、在宅生活を支えるお風呂のお話でした。

企業事業者の皆さまへ

事業所では、労働安全衛生法に基づき健康診断を実施することになっております。雇入れの時や定期健康診断などいろいろありますが、あおぞらクリニックでは、そういった健康診断の相談をお受けしています。検査の種類、日程、時間、料金など御社のお考えに沿うように、ご相談させて頂きます。お気軽にご連絡ください。

【連絡先】金子 36-7777



スタッフ紹介 その9

しみず ゆみ カンタキあおぞら 介護福祉士
清水 裕美

カンタキあおぞらを最初から倉川上げる時の主要プロジェクトメンバーです。20年ほど介護福祉の仕事をして頂いていますが、専門的な介護視点や介護の実践力は仲間からの信頼感が高く、介護の中心的役割を果たしています。介護には知識や技術はもちろん必要ですが、最も基本とするのは「気持ちと配慮」です。そして何でもやってみることでないという事を熟知している介護福祉のリーダーです。こういった介護職の方々に支えられているカンタキです。



「地域密着教室」のおすすめ

皆さまの地域に出向き、カンタキ・訪問看護・サロン他、介護福祉についてお話いたします。

一切 無料 です

日時

土日祝、昼も夜も大丈夫
所要時間1時間程度

場所

どこでもOk
ゴミセン・ご自宅など指定の場所に伺います

申し込み

町内会、老人クラブ、サークル、ボランティア団体等
3人以上のグループでお申し込みください